

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	日本語3 (Japanese 3)		
ナンバリングコード	B10807	大分類 / 難易度 科目分野	教養基礎(教育)科目 / 基礎レベル
単位数	2	配当学年 / 開講期	1 年 / 1年後期・2年前期
必修・選択区分	選択 ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	A023252	クラス名	-
担当教員名	古川 俊雄		
履修上の注意、 履修条件	・「日本語3」は留学生対象科目です。履修する際は「日本語4」と合わせて履修登録して下さい。 ・「日本語1」「日本語2」の単位が取得できていない学生は受講できません。 ・後期開講「日本語3」は能力別に2クラス、前期開講「日本語3」は1クラス編成で行います。 ・指定された教科書は必ず購入してください。購入していない学生は受講を認めません。 ※なお、「日本語3」は日本語能力に応じて単位認定できます。→「成績評価の補足」参照		
教科書	・『N2読解スピードマスター』(Jリサーチ出版) ※必ず購入してください。		
参考文献及び指定図書	・『N2聴解スピードマスター』(Jリサーチ出版) ・『ドリル&ドリル日本語能力試験N2聴解・読解』(UNICOM Inc.)		
関連科目	日本語1、日本語2、日本語4		

○基本情報		
授業の目的	・講義を聞いて理解できるようになるとともに、学部での諸活動が日本語を用いて行えるようにするため、読む力と聴く力の両面から総合的なスキルアップを図る。 ・課題の文章を読んだり聞いたりして、内容を理解するだけでなく、他の表現で言い換えたり、要約したり、感想や意見を述べたりできる力を身につける。 ・日本語能力試験(JLPT)N2レベルの漢字力、語彙力を身につける。	
授業の概要	・クォーター制で授業は週2回あります。 ・毎回、読解と聴解の問題練習を行い、日常生活や講義理解に必要な語彙・文型・表現を理解し、運用する力の増強を図ります。 ・日本語によるコミュニケーション力を身につけるため、身近なテーマや話題についての発表や質疑応答の練習を行います。 ・必要に応じて、漢字・語彙練習や実践的な日常会話・ビジネス日本語の運用練習等も実施します。	
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	「複数クラス方式」
	(3) アクティブ・ラーニング	「プレゼンテーション」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100%)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【ディプロマ・ポリシー①】	日本語力を向上させようという意識を持ち、学習した語彙や表現を使って基本的なコミュニケーションができる。	10%		
【ディプロマ・ポリシー②】	日常生活に必要な語彙や表現および大学での学習・研究活動に必要な語彙や表現を概ね理解でき、基本的な応答ができる。	60%		20%
【ディプロマ・ポリシー③】	自分の専門や興味のある話題について、話の概要を理解し、基本的な質問に答えることができる。	10%		

※教養教育科目及び教職科目については大学DP、専門科目については各学部DPに準じています。

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)

取り組みの内容により総合的に評価します。達成水準の目安は以下の通りです。

[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。

[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。

[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。

[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。

○その他

＜履修および単位認定等について＞

- ・留学生は全員、「日本語1」から順に「日本語2」「日本語3」と受講してください。編入学の場合については個別に判断します。
- ・「日本語1」「日本語2」のどちらとも単位取得できていない場合、「日本語3」「日本語4」を履修することはできません。注意してください。

＜欠席・遅刻などについて＞

- ・6回以上欠席した場合は評価を受けられません。
- ・20分以上の遅刻や理由のない途中退出、授業中の指示や注意に従わず、3回以上注意を受けた場合は退出させた上で欠席とします。

2025年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名		日本語3（Japanese 3）		授業コード		A023252	
		担当教員		古川 俊雄					
学修内容									
1. 日本語能力チェック									
テストをして現在の日本語力をチェックします。									
予習		教科書 pp. 10～27		読解力アップのポイントと練習				約2時間	
復習		教科書 pp. 28～32		テーマ別キーワード				約2時間	
2. 読解・聴解練習									
読解課題		内容理解（短文）		聴解課題		課題理解		※語彙・漢字課題	
予習		教科書 pp. 34～37						約2時間	
復習		オンライン課題ほか						約2時間	
3. 読解・聴解練習									
読解課題		内容理解（短文）		聴解課題		課題理解		※語彙・漢字課題	
予習		教科書 pp. 38～41						約2時間	
復習		オンライン課題ほか						約2時間	
4. 読解・聴解練習									
読解課題		内容理解（短文）		聴解課題		課題理解		※語彙・漢字課題	
予習		教科書 pp. 42～45						約2時間	
復習		オンライン課題ほか						約2時間	
5. 読解・聴解練習									
読解課題		内容理解（中文）		聴解課題		課題理解		※語彙・漢字課題	
予習		教科書 pp. 46～49						約2時間	
復習		オンライン課題ほか						約2時間	
6. 読解・聴解練習									
読解課題		内容理解（中文）		聴解課題		ポイント理解		※語彙・漢字課題	
予習		教科書 pp. 50～53						約2時間	
復習		オンライン課題ほか						約2時間	
7. 読解・聴解練習									
読解課題		内容理解（中文）		聴解課題		ポイント理解		※語彙・漢字課題	
予習		教科書 pp. 54～57						約2時間	
復習		オンライン課題ほか						約2時間	
8. 読解・聴解練習									
読解課題		内容理解（中文）		聴解課題		ポイント理解		※語彙・漢字課題	
予習		教科書 pp. 58～61						約2時間	
復習		オンライン課題ほか						約2時間	

○授業計画		科 目 名	日本語3（Japanese 3）		授業コード	A023252
		担当教員	古川 俊雄			
学修内容						
9. 確認テスト						
ここまでの学習内容について確認するテストを行います。						
予習	これまでの学習内容について復習					約3時間
復習	オンライン課題ほか					約1時間
10. 読解・聴解練習						
読解課題	統合理解		聴解課題	概要理解		
				※語彙・漢字課題		
予習	教科書 pp. 66～69					約2時間
復習	オンライン課題ほか					約2時間
11. 読解・聴解練習						
読解課題	統合理解		聴解課題	概要理解		
				※語彙・漢字課題		
予習	教科書 pp. 70～71					約2時間
復習	オンライン課題ほか					約2時間
12. 読解・聴解練習						
読解課題	主張理解（長文）		聴解課題	即時応答		
				※語彙・漢字課題		
予習	教科書 pp. 72～75					約2時間
復習	オンライン課題ほか					約2時間
13. 読解・聴解練習						
読解課題	主張理解（長文）		聴解課題	即時応答		
				※語彙・漢字課題		
予習	教科書 pp. 76～79					約2時間
復習	オンライン課題ほか					約2時間
14. 読解・聴解練習						
読解課題	情報検索		聴解課題	統合理解		
				※語彙・漢字課題		
予習	教科書 pp. 80～85					約2時間
復習	オンライン課題ほか					約2時間
15. 期末試験1						
筆記試験（全クラス共通問題）						
予習	これまでの学習内容について復習（読解問題）					約3時間
復習	これまでの学習内容についての復習（語彙、文法）					約1時間
16. 期末試験2						
口頭試験または聴解試験						
予習	これまでの学習内容について復習（読解問題、聴解問題）					約4時間
復習						